

2023年10月1日(日) 師崎 カワハギ・カットウフグ 七福丸 ツレと

大潮:旧8/17 満潮06:44(213cm) 干潮12:45(58cm) 神島

満潮06:34(193cm) 干潮12:35(59cm) 福江港湾(三河湾)

→ 福江港湾は神島とあまり変わらないから、これからは神島で考えればよい。

私 カワハギ 7尾 コモンフグ 2尾 カサゴ 1尾

ツレ カワハギ 4尾 カサゴ 3尾

前半は三河湾内で流し釣り、後半は師崎近くで流し釣り

3時25分 出発 → コンビニ・高速

4時45分 現着 (すでに釣り座を確保していた人がいた)
5時までに受付をしてとのことだった。

5時50分 乗船終了

6時00分 出船

6時25分 ポイント着 (港から25分)

13時00分 納竿 沖上がり

13時40分 現地出発 (コンビニ・高速利用)

15時00分 自宅着

【料金】 乗り合い 9,000円 氷付き (値上げしていた)
サービス:アサリのエサか、仕掛けかを選択する。
今日は二人ともアサリを選んだ。



釣り座の決定は、受付を終えた人が空いているところで好きなところへ入るという方式である。つまり、早いもの順である。

【仕掛け】

カットウ 前回使用したものを持参した。

ヤマワ産業 カットウ ライトフグ シングルアーム (根掛かりでなくす)

ヤマワ産業 トライシンカーWアーム 完全仕掛

ヤマワ産業 トライシンカー吹流し 完全仕掛 (根掛かりでなくす)

ヤマワ産業 替えバリ カットウシステム ハリス付き (根掛かりで一部なくす)

カワハギ 自作したものを持参した。

自分は根掛かりでなくす。船上で仕掛けを購入¥300だった。

ツレも根掛かりで2本釣となった。巻き上げ途中でばれるということで、購入した仕掛けを使用した。

しかし、購入した仕掛けでもばれることがあった。

おもり30号 (前回、使用した中オモリ6号は持参しなかった。) 根掛かりで3個なくす

前回、餌としてウタセエビがついていたが、今回はなかった。

カワハギ用のアサリ(¥500)、カットウ用のアオヤギ(¥800)は七福丸事務所または船上で購入可能。

どちらも値上げしていた。

カットウ用アオヤギを事務所で購入。アサリは船上で1つ追加購入した。

※カワハギをするなら、一人2パック必要である。

次回:カワハギ仕掛けはハリスが交換できる仕様のもの、ハリス付きの替えバリを準備したい。

根掛かりが多いため、仕掛けとおもり30号は予備が必要である。

氷を砕くアイスピックも持参のこと。

前回と同様に二人ともキス竿、スピニングリールを持参した。同船者はすべてベイトリールだった。おそらく、カワハギ竿であろう。

【様子】

- 月曜日に行く予定だったが、今日の方が風が弱いという予報だったので変更した。予約は2日前である。ところが雨の予報に変わっていた。風は11時頃からやや強く吹くという予報だった。結局、雨は少し降ったものの、大したことはなかった。風も強い時で風速5mでこちらも大したことはなかった。
→ 風速5mなら船酔いするレベルではないということだ。
- 客は満席に近かった。
- 揺れにくい所は胴であることから、左舷胴に並んで釣り座を決めた。(右舷胴はすでに入っていた)
- 出船時刻の1時間30分前に酔い止めを飲んでおいた。酔うことはなかった。
- 5時50分、港から出て、6時00分に釣り船が一斉に目的地のポイントにスタート。ポイントまで25分
- 「水深30m」とアナウンス。
- 朝一はカワハギ狙いで、当たりが止まったらカットウ釣りをしようと決めていた。
- 予想どおりカワハギがどんどん掛かっている。ところが、自分には豆アジばかり釣れてくる。近くにいた中乗りさんに尋ねたら、「捨糸が長い」と言われた。捨糸を短くして試したら、すぐにカワハギが釣れてきた。しかし続かない。既に朝一の高活性時間は終わっていた。ここからは拾い釣りとなった。
- 根掛かりが頻繁にある。根掛かりで、鉤がなくなったり、リーダーが切れて仕掛けごとなくなったりした。
- 周りの人も根掛かりしているようだが、自分ほどではないように思える。
- カットウを試したが、十分に試す前に仕掛けを2つ取られ、あきらめた。
カットウで釣れたのはカワハギ1枚のみだった。
- 潮の流れが速くなったので、師崎まで移動することになった。水深7m～11mだった。
- ここでも拾い釣りだった。

【振り返り】

- アジが釣れてくる。→ 捨糸が長すぎた。
捨糸は10cmで、一番下の鉤がオモリと同じ位置にあるのがよい。枝間は10cmの3本鉤にしよう。
「アジは底から1m上、カワハギは底べったりにいる」という感じだ。
- 根掛かりが多い。周りの人も根掛かりしているようだが、自分ほどではないように思える。
→ キス竿は竿先が柔らかく、これが原因の一つだと考えられる。
→ キス竿で釣れないことはないが、やっぱりカワハギ竿がほしい。
- ツレはばれることが多かった。次回は吸い込みの鉤を使うことにしよう。
- 去年は神島の南側で流し釣りをしたが、今日は三河湾で流し釣りだった。潮が大きかったからだろうか。それとも、予定通りだったのだろうか。

【カワハギの釣り方】

カワハギは、エサを追いかけて上がっては来るが、底べったりにいるということを念頭に置く。

①竿先を小さく揺らす

オモリで底を小突く、また、底から少し上げてフワフワ揺らす。

②オモリを底から上げて待つ、または、ゆっくり聞き上げる。

あまり上まで聞き上げてくると、アジに喰われると思い、高くまで上げなかった。

<上手な人の釣り方>

おもりを底から少し上げ、おもりをフワフワさせることをイメージして竿先を動かす。
しばらくしたら、フワフワさせながら、ゆっくり竿先を上げていく。
上まで上がったなら、フワフワさせながら下げていく。
または、すーっと竿先を上げ、フワフワさせながら下げていく。

【カットウの釣り方】

- 餌はアオヤギである。
- 底で待つ。魚が餌をつついていたら、10cmくらい素速く竿先を上げる。
- 「おもりを底から持ち上げて仕掛けを揺らす」、「竿をゆっくり大きく振り上げて戻す」といった誘いの後で仕掛けを底に落として待つ。
- 素速い合わせ、根掛かり防止のために、おもりをゼロテンションにして待つ。